



[平成 21 年度設置]

計画の区分：大学の設置

注 1

こども教育宝仙大学

注 2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 宝仙学園
平成 22 年 5 月 1 日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

電話番号

（夜間）

F A X

e - mail

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 大学 学部
(学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 宝仙学園

(2) 大学名

こども教育宝仙大学

(3) 大学の位置

〒164-8631
東京都中野区中央二丁目33番地26号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(トヲ ドウシウ) 富田道生 (平成14年4月)		
学長	(ヤマザキ モリイチ) 山崎守一 (平成21年4月)	(イケダ サチコ) 池田祥子 (平成22年4月)	病気治療・療養に伴う辞任による変更<H22.4.6> (22)
学部長	(イケダ サチコ) 池田祥子 (平成21年4月)	(アオキ ヤスコ) 青木靖子 (平成22年4月)	学長交代に伴う変更 <H22.4.1> (22)
学科長等		(サシダ トシカズ) 指田利和 (平成22年4月)	運営組織強化のため <H22.4.1> (22)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成19年度に報告済の内容 (19)

平成22年度に報告する内容 (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
こども教育学部 幼児教育学科 学士(幼児教育)	年 4	人 100	年次 人 0	人 400	

- (注)・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度 平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	100人 (-)	100人 (-)	(-)	(-)	0.97倍	
志願者数	(-) 110人	(-) 140人	(-) 人	(-) 人		
受験者数	(-) 108人	(-) 138人	(-) 人	(-) 人		
合格者数	(-) 103人	(-) 121人	(-) 人	(-) 人		
B 入学者数	(-) 88	(-) 106	(-)	(-)		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.88	(-) 1.06	(-)	(-)		

- (注)・()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度 平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
1年次	[0] 88	[0] 107	[]	[]	
2年次	/	[0] 83	[]	[]	
3年次	/	/	[]	[]	
4年次	/	/	/	[]	
計	[0] 88	[0] 190	[]	[]	

- (注)・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成21年度	計 [-] 4	(累積)計 [-] 88	[0 %] 4.5 %
	うち平成21年度入学者 4 人	平成21年度 88 人	
	(主な退学理由) 進路変更 (4 名)		
平成22年度	計 [-] 4	(累積)計 [-] 194	[0 %] 2.1 %
	うち平成21年度入学者 4 人	平成21年度 88 人	
	うち平成22年度入学者 0 人	平成22年度 106 人	
	(主な退学理由) 進路変更 (4 名)		
平成23年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学の名称	宝 仙 学 園 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保育学科	2年	60人	年次 0人	120人	短期 大学士	- 倍	昭和 26年	東京都中野区中 央二丁目33番 地26号	平成22年4月 廃止認可申請中

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は, 設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお, 昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については, 黒字で記載してください。
3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後, 審査を受ける場合には, 「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
4 「(2) 授業科目数」は, 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, []内に差し引き数を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: 1)
5 「(3) 未開講科目」は, 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
6 「(4) 廃止科目」は, 認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には, 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

(中野坂上キャンパス)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	中野校舎より約42km 電車・バス利用で約80分		
	校 舎 敷 地	2,464.08㎡	0㎡	0㎡	2,464.08㎡			
	運 動 場 用 地	5,230.42㎡	- ㎡	- ㎡	5,230.42㎡			
	小 計	- ㎡	- ㎡	- ㎡	- ㎡			
	そ の 他	- ㎡	- ㎡	- ㎡	- ㎡			
	合 計	7,694.50㎡	- ㎡	- ㎡	7,694.50㎡			
(2) 校 舎	専 用	4,659.32㎡ (4,659.32㎡)	共 用 0㎡ (0㎡)	共用する他の 学校等の専用 0㎡ (0㎡)	計 4,659.32㎡ (4,659.32㎡)			
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
(3) 教 室 等	4室	6室	9室	1室 (補助職員 1人)	0室 (補助職員 0人)	情報処理学習施設の中に 語学学習施設の機能を含む		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	こども教育学部 幼児教育学科			20 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	教育・研究活動充実のため 図書を増加した(22)
	こども教育学部	48,745〔4,024〕 47,825〔4,001〕 (47,825〔4,001〕)	90〔19〕 (90〔19〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	154 (154)	1,673 (1,673)	0 (0)	
	計	48,745〔4,024〕 47,825〔4,001〕 (47,825〔4,001〕)	90〔18〕 (90〔19〕)	0〔1〕 (0〔0〕)	154 (154)	1,673 (1,673)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	288.11㎡		40		52,000			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	248㎡		グラウンド1面					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り等	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	350千円	図書購入費	32,916千円	5,000千円	4,000千円
	共同研究費等	500千円	4,000千円	設備購入費	123,725千円	1,500千円	3,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,470千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	0千円	0千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、手数料収入、任意による寄付金収入、資産運用収入					

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
 2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
 3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。
 4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。
 5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
11	4	4	1	20	1	10	4	4	1	19	1	教授1名辞任
(9)	(1)	(3)	(0)	(13)	(1)	[1]	[]	[]	[]	[]	[]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			体調面等を含め辞任の申し出があり、学部長と数回にわたり面談協議の結果、辞任を了承した。
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該教員の辞任は、担当科目の履修時期等修学について少なからず影響があるものと考えられたが、年度当初学生オリエンテーション及び学内掲示等を通じ、変更の周知を行ない履修登録等学生への影響はなかった。後任の専任教員については、学内選考を経て平成22年6月変更書提出し秋学期から就任予定である。

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、認可申請書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、表題を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え出し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
 (記入例参照)
- 3 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- 4 退職者は「備考」欄に退職年月、理由を記入してください。
- 5 年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- 6 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「年月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「年月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」欄に()書きで記入してください。(記入例参照)
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」欄に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- 7 「(2) 教員数」の「認可時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に差し引き数を記入してください。
 (記入例: 1名減の場合: 1)
- 8 「(3) 専任教員交代の理由」欄には、認可時の計画からの専任教員交代の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- 9 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成20年10月)	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>・学内で検討し、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うとともに、より一層水準を高めるよう各種委員会を立ち上げ、努力している。</p> <p>・小規模（1学年定員100名）であることのメリットを最大限に活かした肌理の細かな学生指導を徹底するため、授業によって1学年を2分割、3分割、あるいは6分割（さらに音楽演習・基礎はグレード別の12分割）で行うこととした。</p> <p>・4年間の学びの基礎としての基礎ゼミは、14～15名を単位とし、初年度教育の内容を意識的に行う。またゼミ担当者によるミーティングを、おおよそ1か月に一度の割合で開催し、学生の状況把握など共通理解に努める。</p> <p>・教員の研究活動の向上のために、「年間研究計画」および「目標挑戦シート」を提示し、自己評価ならびに管理的な評価を併せ行う。</p> <p>⑳</p> <p>教員の研修会実施などのFD活動及びFD研修を実施した。</p> <p>授業アンケートを実施する。</p> <p>㉑</p> <p>運動場を使用する授業等を5月中旬以降実施</p> <p>㉒</p> <p>秋学期の最初からH21年度と同様の運動場を使用する授業を予定している。</p> <p>㉓</p>	<p>学生による授業アンケート、教員の定期的な研究会実施などのFD活動及びFD研修を予定</p> <p>㉑</p> <p>引き続きFD委員会において計画立案し、研修会、授業アンケート等実施予定である。</p> <p>㉒</p> <p>授業については、21年度同様に大学から貸切バスで送迎し、担当教員以外の職員も同行し授業支援にあたる。課外活動については、学友会発足2年目に入り、サークル等徐々に活動し始めてきた。学生の要望等充分検討し利用に向け支援していく。</p> <p>㉓</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (22年2月)	該当無し		

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<こども教育学部 幼児教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
科目名称変更 「教職実践演習」 「保育・教職実践演習（幼）」	平成22年度入学生より教員免許取得課程において「教職実践演習」が導入され、本学の教育課程においては「保育・教職実践演習（幼）」という名称で課程認定された。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・運営会議において委員会組織を決定し、その一つにFD委員会を設置している。・FD委員会等各委員会の規程については、現在整備中である。 <p>別添 「こども教育宝仙大学運営会議運営規程」</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・運営会議は、定例年11回開催。（教員5名・事務1名）・FD委員会は、7回開催。（教員3名・事務1名） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・運営会議：教員人事・委員会組織策定・中期計画立案等・FD委員会：教員研修立案・授業評価、学生アンケート実施案・他大学等FDセミナー参加報告等 <p>実施状況 実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・授業評価・研修会・教員評価
--

b 実施方法

・授業評価

最終授業時に、学生による授業アンケート方式で各科目の授業評価を行い、その結果に対して教科担当者のコメントを付したものを冊子としてまとめている。教員・学生が自由に閲覧出来るようにし、授業改善のためにフィードバックできる体制にしている。

・研修会

F D委員会を設置し、F D委員会の企画運営により、学期ごとに研修会を行う。レポート担当者からの報告・問題提起を受けた後、授業内容の検討、カリキュラム改革等に関わる議論や検証を行う。

F D委員会を中心に、公開授業（2回実施済み）、授業研究会も研修会の一環として実施する。また、特色ある授業あるいは、教育方法の改善の取組について、HPなどで公開していく。

・教員評価

各教員の自己点検作業を前提とした「自己研鑽力」を向上させるために、各自の「目標挑戦シート」の作成・提出を課している。

内容の区分としては、「研究」・「教育」・「学生との対応」・「大学運営への貢献」・「対外活動」・「外部からの評価、受賞、表彰」の6項目が設定されている。

各教員は、年度初めにこれらの各項目の目標・計画を記入し、学部長に提出する。年度末にはさらに各項目の自己評価・達成度等を記入して、学部長に提出する。それに基づいて、学部長（学長）は各教員を個別に面談する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

第1回F D研修会7/1（教員19名参加）

「アドミッションポリシーの具体的理解と共有化」

「本学の実習体制について」

第2回F D研修会12/2（教員18名参加）

「『建学の精神』および『大学設置趣意書』から見た本学の教育について」

「学生授業評価と授業改善のためのアンケートについて」

第3回F D研修会 授業研究会3/30（教員10名参加）

「基礎ゼミ報告会 - 2009年度初年次教育の試み - 」

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生授業アンケートの集計・分析結果を製本し、授業改善の重要な参考資料とした。

また、製本された冊子は、本学図書館に常備し、学生へも開示している。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学としての全般にわたる自己点検・評価は、数年に一度行うことになるが、学則に基づく自己点検・評価に関する規則には「学部長による年度報告書の作成と提出の義務づけ、単年度ごとの教育研究活動の点検評価の実施」となっている。

すなわち、教員の研究・教育活動状況、研究費の執行状況、科学研究費の採択状況等を把握し、単年度ごとの自己点検・評価を積み重ねていくことを必須としている。

この他、事務組織における予算の執行状況、年次進行中に課せられる「履行状況報告書」を、年間を通じて意識させ緊張を保たせる。

これらは時代に即応しうる大学として、また学生や社会に対応する教育研究活動の質の保証のためにも当然のことと考えて実施する。

開学以降、設置の趣旨・目的を達成するよう各種の委員会を立ち上げ、それらを総括した自己点検・評価がなされるよう整備を進めている。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成25年5月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年5月予定）

認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に評価機関（財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(4) 情報提供に関する事項

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 11月 25日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.hosen.ac.jp/kodomo.pdf>)

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成22年 6月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.hosen.ac.jp/rikou2010.pdf>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの (未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更 (又は未実施) の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には (別紙のとおり) とし、A 4 版 1 枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「 」及び「 」の「 c 」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「 d 」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。